

# 大学院生 のための 進路選択 ガイド

Career Path Guide



研究が楽しくて  
博士後期課程に  
進学したけど…

アカデミアに  
進みたいけど  
将来が見えないし…

自分の専門を  
活かせる企業が  
思い浮かばない…

周りには  
キャリア相談  
できる同期が  
少ないし…

研究が忙しくて  
就職活動が  
なかなか  
できない…



そんなあなたは、まず企業と接し  
てみよう、研究をするなら産業界と  
いう広く大きな世界がある事に気が  
付きます。

思いもよらない企業があなたの方  
うな人材を探しているかも

P4でHi-Systemへまず登録、  
P11へGo!

D2/D3/PD  
Type.1

【研究没頭タイプ】

●一生懸命研究に没頭し、気づいたら…さて将来どうしよう!!

あなたはどのタイプ?

【計画設計タイプ】

Type.2  
M1/M2/D1

●DC進学か就職か、考え時だなあ…

●まだ余裕があるぞ、アカデミアか  
企業か、しっかりと情報収集しよう!!



そんなあなたは、自分の専門性の  
活かし方を探ってみよう、そして  
プラスアルファのスキル習得で大きく  
幅を広げられるかも

P4でHi-Systemへまず登録、  
P6へGo!

早いうちに複数の  
選択肢を検討して  
おきたい…

研究は楽しいけれど  
博士後期課程は  
将来が不安…

企業では  
どのような研究が  
できるんだろうか…

大学と企業って  
研究のやり方が  
違うのかなあ…

社会に出てから  
役立つスキルを  
身に着けたい

# 人材育成本部が提供するプログラム全体像

※どの段階からでも利用できます。

## 企業就職 ▶ 活動開始

実践参加型  
(DC・PD)

⑪ 博士力実践インターンシップ

業務を経験  
……P16へ

⑩ 産学シーズ／ニーズマッチング人材交流会／  
企業研究サイトビジット

企業で論議  
……P15へ

⑨ 企業事業所視察

企業を見る  
……P14へ

⑧ 赤い糸会&緑の会

企業と論議  
……P12へ

⑦ J-window (進路相談)

DC・PD限定  
……P11へ

実践重視のD2、D3、PDへ

⑥ ビジネスコミュニケーションセミナー

ステップアップ  
……P7へ

⑤ ビジネスマナーの基本と実践

常識を知る  
……P7へ

④ キャリアパス多様化支援セミナー

仕事を知る  
……P10へ

③ Advanced COSA / COLA

企業を知る  
……P8へ

② キャリアマネジメントセミナー

企業を知る  
……P6へ

余裕のあるM1～D1へ

① Hi-System 登録

まずは  
ここから!

全員登録!  
……P4へ

意識改革型  
(MC・DC・PD)

# 1 Hi-System登録 (Registration to the Hi-System)

MC・DC・PD

イベントの  
お知らせが  
届きます  
(Event News)

企業情報や  
就職情報の  
閲覧が可能  
(Company Info)

企業への  
自己PRを  
発信できます！  
(Expose your PR  
Information)

## Hi-System

若手研究者 (MC/DC/PD) の社会活躍をサポートするWEBサイト  
Exclusive information exchange platform



僕はアカデミア志向…  
だけどTransferable Skill  
はどんな場面でも必要だ。登録  
して活用しよう！



MCでの就職も、DC進学後に  
就職するのもおもしろそう。  
情報やイベント満載だわ！  
早く登録しよっと。

まずはご登録  
ください！

Hi-Systemへは人材育成本部ホームページよりアクセス！  
<http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/>  
左バナー「Hi-System」→Hi-Systemログインページへ



# みなさんをサポートするチームです

## S-cubic

S-cubicは大学院生のキャリア形成支援活動を推進しています。DC進学を考えているMCから、DC在学生、またPDの皆さんが、特に産業界へ進むために必要な情報や実践スキルの提供、カウンセリング、産業界とのマッチングの場の設定、インターンシップ派遣など、幅広く濃密なサービスを提供しています。Hi-Systemに登録し、積極的に活用して下さい。

## COFRe

COFReはS-cubicで実施しているプログラムに加え、8大学(東北大学、名古屋大学、大阪大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、立命館大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学)の様々なプログラムを北大の皆さんに提供しています。是非、それらの開催情報をお知らせするHi-Systemに登録し、企業と皆さんのマッチングやスキルアップにご活用ください。

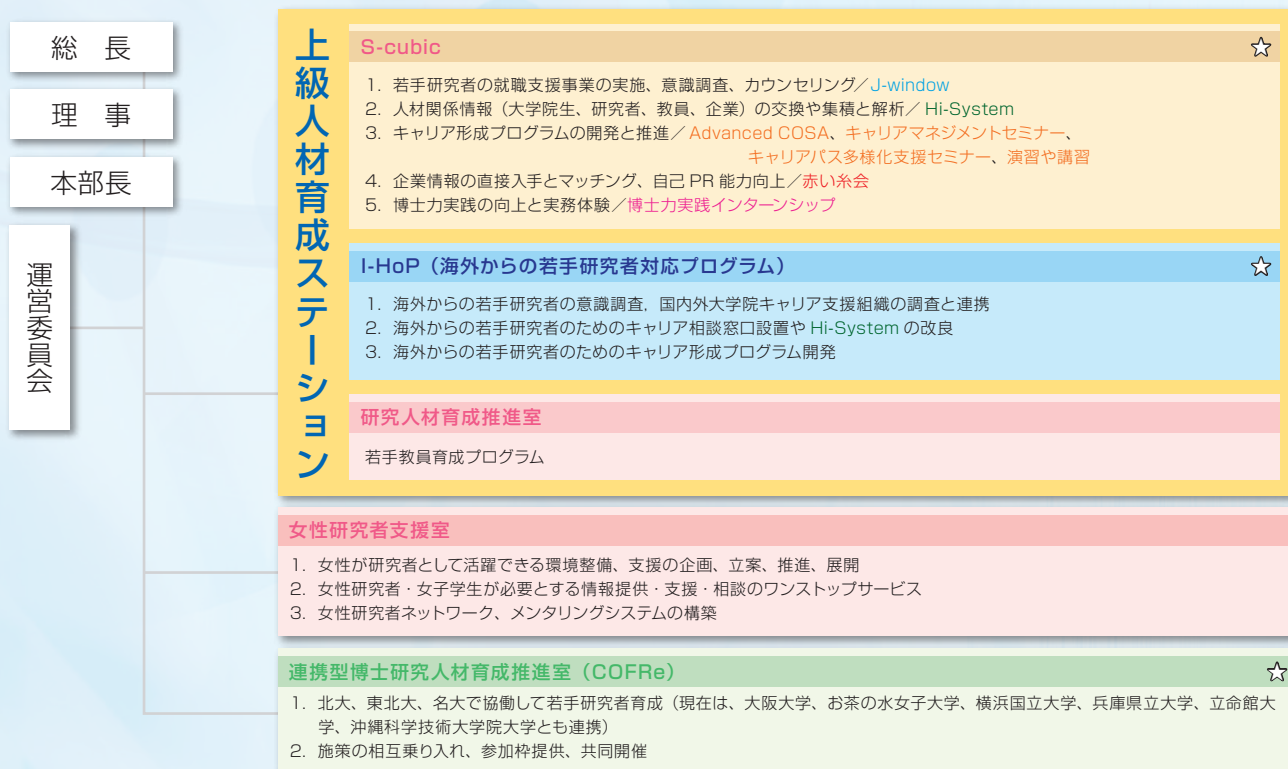
## I-HoP

I-HoPはS-cubicで実施しているプログラムを、英語で学ぶ外国人大学院生や研究者に提供しています。英語での相談など、是非ご活用ください。

## 人材育成本部

### 組織と役割

人材育成本部は、博士課程学生（DC）や博士研究員（PD）のキャリアパス多様化支援をはじめ、次世代リーダーとしてのテニュアトラック教員の採用と育成、また研究者を目指す女性の教員や学生のための環境整備・支援活動を行います。



☆: DC・PDのキャリア支援チーム

## ② キャリアマネジメントセミナー（授業）

1. 就職したい企業の分析法がわかる!
2. 企業の研究開発の考え方がわかる!
3. 企業マネジメント法を活用できる!



企業就職を目指す大学院生(MC・DC)や博士研究員(PD)向けの、1コマ毎の読み切りタイプの授業です。大学と企業での研究活動における考え方の違いや、企業研究人材として必要なマーケティング、マネジメント、プレゼンテーション、リーダーシップ、企画書の書き方など実践的な内容です。昨年は400人を超す受講者がありました。函館の水産科学院にも同時中継しています。

1. 大学院共通授業科目  
「キャリアマネジメントセミナー(MOT関連)」(2単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目  
(研究指導科目を含む)  
キャリア実践科目「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目  
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)

### 2019年度実施状況

	講義内容	講師	
1	イントロダクション	人材育成本部	吉原拓也
2	イノベーションを起こす	人材育成本部	吉原拓也
3	企業の種類と分析	人材育成本部	樋口直樹
4	知的財産マネジメント	人材育成本部	吉原拓也
5	リーダーシップ	人材育成本部	樋口直樹
6	企画書の書き方	人材育成本部	樋口直樹
7	商品創造/新商品開発	小林製菓	川西貴
8	マーケティング	日本電気	小糸達也
9	プレゼンテーション	物質・材料研究機構/ 元NHK科学番組ディレクター	小林隆司
10	アントレプレナーシップ	リバネス	丸幸弘
11	発想法	東京大学	藤本徹
12	企業(1)先端技術と新規事業	ANAホールディングス	津田佳明
13	企業(2)先端技術と新規事業	クラレ	中野一郎
14	企業(3)先端技術と新規事業	日本電気	貞廣滋
15	企業(4)先端技術と新規事業	ハウス食品グループ本社	上野正一

### 2020年度実施予定

開催日時:2020年4月～7月  
毎週1コマ 全15回

### 受講方法

- ①Hi-Systemに登録し、イベント情報から「2020年度キャリアマネジメントセミナー」へ申込み。
  - ②単位希望者は①に加えて所属部局に履修届を提出。
- ※詳細はシラバスをご覧ください



2019年度受講者アンケートより

### 受講者の声

発想法やプレゼンなどすぐに活用できるようなことから、後半は実際に企業の方からお話を聞くことができ、働くことについて考えることができるよい機会となりました。

研究室での生活が大部分を占めるなかで企業の方の話を聞く機会は大変貴重であった。本講義を通じて学んだことを今後のキャリアプランに活かしたい

実際に事業を行っている人の「生の声」を聞くことが出来る授業で、自分のキャリア形成の上でとても役立ったと感じます。また、自分の研究を行う上でもモチベーションになりました。



## ⑤⑥ キャリアマネジメントセミナー（演習）

1. 就活のビジネスマナーが身につく!
2. プレゼンテーション力が向上する!
3. コミュニケーション力が向上する!



社会との接点構築に必要なビジネスマナー（礼儀作法、服装、挨拶など）及びビジネスコミュニケーションに関するセミナーです。

ANAビジネスソリューション(株)より経験豊かな講師をお迎えしています。

### ビジネスマナーの基本と実践

2020年度実施予定

2020年8月～10月(予定)

MC・DC・PD対象

2019年度実施状況



札幌会場



函館会場

### ビジネスコミュニケーションセミナー

2020年度実施予定

2020年8月～10月(予定)

DC・PD対象(余裕があればMCも可)

ビジネスマナーを含め企業の方とのコミュニケーションを中心に指導いたします。

相手に良い印象を残す話し方や、もう一度会ってみたいと思わせる話し方などコミュニケーションの取り方を中心に、自分の知識・情報・考えなどをより分かりやすく伝えるための自己表現方法を学びます。



第1部は大人数制の講演、第2部は少人数制の演習です。

第1部ではビジネスマナーの基本である接遇の考え方や言葉遣いなどについて講演していただきます。

第2部では第1部の基本をふまえたうえで、名刺交換や訪問応対などロールプレイを交えた参加型の実習を行います。

2019年度受講者アンケートより

マナーを心得ておくことが、どういう意味で必要なのか理解できたので参考になりました。

自分自身の意外な長所と意外な短所、緊張すると出る癖などを的確にアドバイスして下さった点が助かった。

テクニックだけでなく心の持ちようも教わることができた。面接に関わらず今後ずっと使えるマナーを教わられた。

2019年度実施状況



2019年度受講者アンケートより

スピーチ、自己紹介、面接などで実践的な経験ができた。また、そこで多くのアドバイスをもらえた。

全体的な指導ではなく、一人一人に見合ったフィードバックをいただいた。

その他、コミュニケーション上達講座やエントリーシートの書き方セミナーなどを開催。

## ③ Advanced COSA

1. 企業の研究開発の実際を知ろう!
2. 企業人の研究開発人生を知ろう!
3. 企業で活躍する先輩達と話そう!



企業研究開発の第一線で活躍されている研究所長や研究部長クラスの方を主な講師としてお招きし、大学の中では触れることの少ない企業研究の実際やその魅力、研究マネジメントや博士の活躍ぶりなどを事例も交えて紹介します。また、若手企業人の北大博士先輩もお呼びして年齢の近い企業研究者のお話しも盛り込みます。2日間の集中講義です。

1. 大学院共通授業科目  
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」  
—Advanced COSA(1)、(2)—(各1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)  
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」  
(各1単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目  
「ステップアップキャリア形成I、II」(各1単位)

### 2020年度開催予定

Advanced COSA(1):2020年7月頃(予定)  
Advanced COSA(2):2020年11月頃(予定)

### スケジュール

(1日目)	(2日目)
・ガイダンス(30分)	・企業講師③講演(60分)
・企業講師①講演(120分)	・質疑応答(50分)
・昼休み(60分)	・企業講師④講演(60分)
・質疑応答(60分)	・昼休み(60分)
・企業講師②講演(120分)	・質疑応答(50分)
・質疑応答(60分)	・企業講師⑤講演(60分)
・懇親会(90分)	・質疑応答(50分)
	・総括討論、まとめ(30分)

※詳細はシラバスをご覧ください

### これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ デンソー
■ アステラス製薬	■ 東急建設
■ アラヤ	■ 日本製鉄
■ 大塚製薬	■ 日本電気
■ 花王	■ ノバルティスファーマ
■ キューピー	■ パナソニック
■ クラシエ製薬	■ 日立製作所
■ サッポロビール	■ 堀場製作所
■ サントリー HD	■ マルハニチロ
■ JSR	■ 三菱電機
■ JNC	■ メタジェン
■ シスメックス	■ ヤンマー
■ 資生堂	■ ライオン
■ 住友化学	■ ラクオリア創薬
■ 第一三共	■ レノバ
■ ダイセル	■ ロート製薬
■ 大日本住友製薬	

### 2019年度実施状況



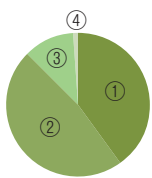


## 2019年度受講者アンケートより

### 質問1:企業での研究開発に魅力を感じたか?

- ①大変魅力を感じた
- ②ある程度魅力を感じた
- ③どちらでもない
- ④感じられなかった

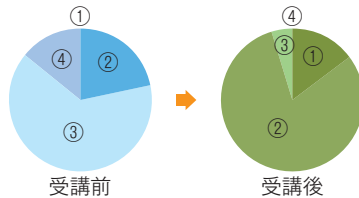
①②の肯定的な感想が88%



### 質問2:講義を聴く前後での企業研究の理解度の変化

- ①よく理解している
- ②ある程度理解している
- ③よく理解していない
- ④全く理解していない

①②のある程度以上 理解の比率が22%→95%



### ■受講生より■

- 今までは基礎研究ばかり意識していたが、企業での研究もおもしろそうだと感じた。特に市場やニーズに合わせて異分野とコラボするなど、基礎研究だけではわからないおもしろさを感じた。
- 1日目のベテランの方々と、2日目の北大卒で自分に近い方々それぞれの話をきけたので企業で実際にやることの詳しいことや、就職で気をつけた事など様々な面での自分が知りたかったことを聞けたのでとても参加になりました。全体を通して、自分たちの周りの認識よりも博士課程へ進むことにポジティブな要素が多かったのが印象的でした。
- デザイン思考や標準化についての話から、これまでにない視点が得られ勉強になった。ベンチャー企業に勤めている方の物の見方や考え方を学ぶことが出来たことは意義深い。

## 先輩からひとこと

### 須藤 慎也

ライオン株式会社  
先進解析科学研究所  
H29年3月 北海道大学 大学院  
総合化学院 博士後期課程 修了



#### ■経歴と就職活動、入社後の仕事内容について

私は2017年に北海道大学大学院総合化学院で博士課程を修了しました。在学中は常温で液体といった特殊な金属を用いた機能性材料の研究に取り組んでいました。具体的には、液体金属として知られるガリウムを界面科学的なアプローチでナノサイズ化することで、通常のバルク状態では見られない様々な特性を見出し、それらを活かした機能性材料の創出を行いました。

就職活動時期は産業界の研究分野で活躍したいという強い気持ちがあったため、アカデミアではなく企業に就職することを決断しました。研究室の先輩方が赤い糸会を活用して就職先を決めていたという事もあり、積極的に会へ参加しました。その際にライオン株式会社の人事の方とお話しする機会があり、その後縁あって内定をいただくことができました。ライオンに入社直後はR&Dの基礎研究を担う部署で、洗剤等に含まれる界面活性剤の合成から物性評価までを一貫して行う研究を推進しました。在学時代にモノ作りから評価までの一連のプロセスを自身で成し遂げた経験が大いに活きて強く感じました。現在はこれまでに培った界面化学の知識を活かし、新機能を付与した製品を生み出すための技術開発に取り組んでいます。

#### ■博士課程在学中の皆様へ

今後社会に出ていく皆様に大切にしてもらいたいことが1つあります。それは「人と人の繋がり」です。最初にライオンに興味を持ったきっかけは赤い糸会に参加し、人事の方とお話したことで社風を知ることができたことです。その後、ライオンから内定を頂いていた先輩にライオンの研究員の方を紹介していただき、現場で働く社員の生の声を聞いたことで自身がライオンで働くイメージを持つことができました。また、その研究員の方からは海外の著名な先生を紹介していただき、SV制度を利用して海外留学に行くこともできました。留学先でお世話になった先生とは今でも研究で交流が続いています。こうした「人と人の繋がり」があったからこそ今ライオンで働けている、そして自身のスキルアップにも繋がったのだと思います。一度一度の人と人の出会い、そして出会った人と人の繋がりを大切に過ごしてください。

## OG Message

### Advanced COSAに参加して

### 羽山 慶一

北海道大学 大学院  
総合化学院 総合化学専攻 (DC3)  
R2年3月修了予定  
→株式会社コーセー内定



「就活は情報戦」という言葉をよく耳にしますが、その点において北大の博士学生はかなり不利ではないかと思えます。修士で多くの友人が卒業して孤独だし、研究で忙しくて就活ばかりしてられないし、毎回説明会のために東京に出るほどお金ないし…。そんな風に自分の境遇を恨んでいたD2の秋、使える情報網は積極的に利用しようと考えて参加したイベントの一つがA-COSAでした。

A-COSAの概要は上記の通りなので割愛しますが、一般的な企業説明会との一番の違いは、質疑応答の時間がじっくり設けられていることだと感じました。一般的な説明会は大量の就活生を相手に一日何セットも行われるので、質疑応答にあまり時間が割かれません。そのため意識の高い就活生達に気後れしている間に終了してしまうこともあります。しかしA-COSAでは学生が少人数かつ時間はたっぷりあるので、聞きたいことをじっくりと聞くことができます。また就活が本格化する前なので、聞くべきか不安に思うような攻めた質問も(失礼のない範囲で)することができます。

講師としてご参加くださる方々は研究所長クラスの方や、北大OBOGの若手の方なので、普通の就活ではなかなか聞けない貴重なお話を伺うことができます。また懇親会はよりフランクにお話を伺うことのできるまたとない機会です。せっかく参加するなら懇親会まで参加して、聞きたいことは全部聞いてから帰ってほしいと思います。

A-COSAや赤い糸会など、人材育成本部主催のイベントに参加し、様々な企業の方々や人材育成本部の方々、同期たちと(時にはお酒を飲みながら)交流する中で、企業で自分がどう生きていきたいかというイメージがより明確になったと感じています。この経験は就活での自己分析や業界・企業選びの大きな助けになりました。将来何をしたいのか迷っている人はもちろん、志望業界・企業を絞れている人も是非参加して、自分のキャリアプランを考え抜いてから本格的な就活に臨んでほしいと思います。人材育成本部は親切でお節介な方々ばかりなので、ぜひ積極的に利用してみてください。

## Advanced COLA

## MC・DC・PD

人文・社会科学系大学院(博士課程)を修了後、アカデミアではなく産業界にその活躍の場を見出された企業人の方をお招きし、大学の中ではなかなか知ることのできない企業活動の実態やその魅力を語っていただくとともに、人文/社会科学系の学位の意義についても論議します。

### 2019年度実施状況



日本入試センター 秋月講師



朝日新聞社 閻講師



北海道開発技術センター 小西講師

### 2019年度受講者アンケートより

アカデミックポストのみに留まらない、多様なキャリアが広がっている(広げていける)ことを実感でき、自分のすべきことが明確になったような感じがしました。

博士課程に進んだ方々が、社会でどのように活躍されているのか、また学生時代の研究分野とどのように向き合っているのかを知ることができてよかったです。

## ④ キャリアパス多様化支援セミナー

1. 試験管を振る以外の理工系人生!
2. これからは交渉力が無いとダメ!
3. 自分のアイデアやスキルで起業!



キャリア形成に必要な情報の提供や能力の開発とともに、企業におけるプロジェクト推進の実際や、大学院生が大学内では得ることが難しい多様なキャリアの実際情報を、既にそのキャリアを獲得した社会人を招いて講義をしていただく内容です。具体的には研究者と最もかわりの深い知的財産権を扱う仕事、これからますます必要になる交渉学などについて、テーマを絞って講演いただきます。

1. 大学院共通授業科目  
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会&緑の会—」(1単位)
2. 生命科学 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)  
「博士研究者のキャリア開発研究」(1単位)

### 2020年度実施予定

#### I(交渉学):2020年6月頃(予定)

交渉学を学習するために作成されたケースを用い、交渉の事前準備と交渉シナリオ作成、ロールシミュレーション(模擬交渉)の実施と交渉結果のフィードバックを通じて交渉学の基礎を実践的に学びます。

#### II(プロジェクトファシリテーション):2020年7月頃(予定)

会議運営の課題を共有し、ファシリテーションによる効率的かつ効果的な会議運営術を学びます。ファシリテーションとは、グループ活動が円滑に行われるように、中立的な立場から支援を行うこと、またそのための技術のことを指します。

#### III(知的財産権):2021年1月頃(予定)

企業での研究開発成果は知的財産権で保護する必要があります。そのためには技術を熟知し、論理的思考能力を発揮できる人材が必要になります。企業の知財活動の実際を学び、自身の可能性を探求します。

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーか年間1回開催の企業事業所視察のうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください(単位に関してはDC限定)

### これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

■ IT教育研究所	■ 太陽国際特許事務所
■ アカリク	■ 東京富士大学
■ 味の素	■ 日本電気
■ 内田・鯨島法律事務所	■ ノエビア
■ AgIC	■ パナソニックIPマネジメント
■ 王子HD	■ ビザスク
■ オリジナルペット	■ 日立製作所
■ 金沢工業大学	■ 富士フイルム
■ カブク	■ 古河ファイナンス・アンド・ビジネス・サポート
■ 神戸製鋼所	■ ブルックス
■ サントリー HD	■ ベビログ
■ ジーンクエスト	■ みずほ情報総研
■ シスメックス	■ メタジェン
■ 積水化学工業	■ メルティンMMI
■ セルバンク	■ リバネス
■ ソニー	
■ 大日本印刷	

### 2019年度実施状況

#### I 知的財産権



ソニー・矢藤講師



みずほ情報総研・野口講師



太陽国際特許事務所・上原講師

#### II 交渉学



東京富士大学・隅田講師



グループワーク1



グループワーク2

#### 2019年度受講者アンケートより

企業における研究開発等で関わることになる可能性のある知的財産権の概要を知ることができ、また、実際の業務の雰囲気も知ることが出来た。知的財産に関するコンサルタントの仕事もあることを知り、世界が広がった。



パネルディスカッション

企業の利益と知的財産の相関を深く知ることが出来た。

#### 2019年度受講者アンケートより

言語として交渉学の学習する機会がなかったので、非常にわかりやすかった。同時に実習形式で練習ができ、貴重な経験となった。



講演

自分が交渉する上で、どのような癖があるのか分かったうえ、どのようにすれば交渉が上手に運ぶのかわかってとても良かった。

### Ⅲ プロジェクトファシリテーション



古河ファイナンス・アンド・ビジネス・サポート 講師



グループワーク1



グループワーク2

#### 2019年度受講者アンケートより

話しの進行は重要だと感じるので、ファシリテーションの立場の取り方や、ファシリテーターが意見を言う時にはどうするのか等具体的に教えていただいたので良かった。

実際に大きな課題でファシリテーションをして、事前の準備(背景・問題の明確化)がかなり重要だと思った。

## ⑦ J-window (進路相談)

# DC・PD

1. 企業と博士の接点を構築します!
2. 博士専用進路(就職)相談窓口!
3. 自分の特徴を活かす進路を探索!



#### 主な就職先

(敬称略、五十音順)

■旭化成	■クレハ	■資生堂	■テクノプロ・R&D社	■日本たばこ産業	■三菱電機
■アステラス製薬	■神戸製鋼所	■島津製作所	■東芝	■日本電気	■ヤフー
■アルビオン	■コーセー	■昭和電工	■東ソー	■日立製作所	■ロート製薬
■出光興産	■コニカミノルタ	■住友化学	■東レ	■ブリヂストン	
■小野薬品工業	■JSR	■ソニー	■トクヤマ	■古河電気工業	
■花王	■塩野義製薬	■第一三共	■とめ研究所	■マルハニチロ	
■カネカ	■シスメックス	■データフォーシーズ	■日東電工	■三井化学	

#### J-window を活用して

##### 櫛引 勇人

北海道大学 大学院  
生命科学院 生命科学専攻 (DC3)  
R2年 3月修了予定  
→アステラス製薬株式会社内定



博士学生は学部生や修士学生と比べ就職活動の情報を得づらだけでなく、取り組んできた研究内容が就職活動に直結するため周りの人に相談しにくいと思います。また、アカデミアへ進むべきか企業就職すべきか決めかねている方も多いでしょう。J-windowでは進路・業界選択の相談から、ESの添削、面接・研究発表の練習など、博士学生の実情に即した様々なサポートを受けることができ、博士就活について様々な相談に乗って頂けます。J-windowを利用する時期は就活直前に限りません。まだまだ先だと思っても早めに活用することをお勧めします。

私は博士課程で基礎中の基礎の研究をしていたため半ば企業就職を諦めていました。そんな折に友人からJ-windowを紹介され、進路・業界選択から面接練習に至るまで様々なサポートを受けました。内定を貰うまで約1年間にわたり大変お世話になりましたが、特に印象に残っているのは面接練習です。私は「なぜこの会社・業界を選んだのか」という質問にうまく答えませんでした。原因について担当教員の吉原先生、樋口先生に親身に相談に乗って頂き、自分がしたい研究ばかり重視し、研究を通してどのような価値を社会に生み出したいのかという視点で進路選択において欠けていることに気付きました。そこでもう一度自分の価値観に合っている進路・業界・企業・業種とは何か考え直し、結果的に心から勤めたいと思える企業から内定を頂くことができました。私にとってJ-windowは就職活動だけでなく、何のために働くのか将来の行動指針を立てる上でも大きな支えとなったと思います。

最後になりましたが、吉原先生、樋口先生はじめ人材育成本部のスタッフの皆様にはお忙しい中J-window等様々なプログラムで大変お世話になりました。就活開始前はアカデミアに残るしかないと思い込んでいた私にとって皆様の支えは大きな励みでした。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

#### J-window を活用して

##### 小野里 尚記

北海道大学 大学院  
情報科学研究科 情報工/外ロニクス専攻 (DC3)  
R2年 3月修了予定  
→ソニー株式会社内定



研究活動の関係で博士3年の夏頃に就職活動を始めましたが、うまくいわずに悩んでいた私は藁にもすがる思いでJ-Windowで相談しました。J-Windowは博士人材の企業との接点を作ってもらったり、ES、面接対策などの就職活動サポートをしてもらえるシステムです。

……当然のことですが、卒業年度の夏頃に就職活動をスタートしても多くの企業はすでにエントリーを閉じています。焦っていた私はJ-Windowに相談を行い、現状の整理とこれからの方針を先生と話し合うことで立てました。今、思い返すとそこで先生と話し合えたことによって精神的にも落ち着くことが出来ました。もう一度就職活動を頑張ってみようという切り替えができたとても大きなターニングポイントだったと思います。その後の就職活動でもっとも勉強になったのは「自分自身をどのように売り込むか?」です。博士人材が動かしやすいのは企業に対して自分ではなく研究をアピールしてしまうことです。学会での研究発表では自分の「研究」を精一杯アピールしますが、就職活動では「自分自身」をアピールしなければなりません。ESや面接対策でJ-Windowの先生からは熱のこもった愛のある指摘をたくさんいただき、時には意見を戦わせることで「自分自身」のアピールの仕方だけでなく自分の考えをブラッシュアップすることができました。

博士の就職活動では周りに一緒に就職活動を行っている同期がいなかったり、少ないことが多いことから孤独な気持ちを感じたり、どうすれば良いか分からなくなったりすることがあると思います。悩んだ時は一歩を踏み出してJ-Windowで相談してみてもどうでしょうか? もちろん、自分がどうしたいのかという情熱を持って相談すれば企業、博士のことを熟知した百戦錬磨の先生、スタッフの方々は全力でサポートしてくれるはずですよ。

最後に、全力で就職活動をサポートしてくれた吉原先生、赤い糸会などに参加するきっかけを作ってくれた樋口先生、スタッフの皆様はこの場を借りて深く感謝申し上げます。

# ⑧ 赤い糸会&緑の会

# DC・PD



1. 博士に対する企業の期待を聞く!
2. 博士の力を企業にアピールする!
3. その後に繋がる濃密な相互交流!

企業約16~20社、若手博士研究者(DC,PD)約40~50名が一堂に会し、Face to Face の直接的な情報交換を行います。参加企業は自社の新事業、新規研究テーマ、博士人材への思いなどメッセージをショートトーク等により若手博士研究者へ発信し、若手博士研究者も自らの人となりや研究スキルをポスターで発表、企業担当者にアピール、密度の高いマッチングを狙います。ここからインターンシップや実際の就職につながった例は数知れません。

1. 大学院共通授業科目  
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会&緑の会—」(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士) 専門科目(研究指導科目を含む)  
「博士研究者のキャリア開発研究」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーか年間1回開催の企業事業所視察のうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。  
※詳細はシラバスをご覧ください

### これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ 資生堂	■ とめ研究所
■ アクセンチュア	■ 島津製作所	■ 日東電工
■ 旭化成	■ 昭和電工	■ 日本製鉄
■ 朝日新聞社	■ 信越化学工業	■ 日本IBM
■ アミノアップ化学	■ 住友化学	■ 日本エアーリキッド
■ アラヤ	■ 住友金属鉱山	■ 日本ゼオン
■ アルビオン	■ 第一三共	■ 日本たばこ産業
■ ウェザーニューズ	■ ダイセル	■ 日本電気
■ エーザイ	■ タイトー	■ 日本電信電話
■ 大塚製薬	■ 大日本印刷	■ 日本入試センター
■ 花王	■ 大日本住友製薬	■ ノバルティスファーマ
■ カネカ	■ 太陽HD	■ パナソニック
■ キュービー	■ 大和ハウス工業	■ 富士通研究所
■ 京セラ	■ 竹中工務店	■ プリチストン
■ キリン	■ 田辺三菱製薬	■ 古河電気工業
■ クラシエ製薬	■ 中外製薬	■ ポッシュ
■ クレハ	■ データフォーシーズ	■ 堀場製作所
■ ケンブリッジコンサルタンツ	■ テクノスデータサイエンス	■ マルハニチロ
■ 神戸製鋼所	■ エンジニアリング	■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー
■ コーセー	■ デュポン	■ 三菱電機
■ コニカミノルタ	■ テルモ	■ 矢崎総業
■ 三桜工業	■ デンソー	■ ヤフー
■ サントリー HD	■ 東急建設	■ ライオン
■ JSR	■ 東芝	■ リコー
■ JNC	■ 同仁医薬化工	■ レノバ
■ 塩野義製薬	■ 東レ	■ ロート製薬
■ シスメックス	■ トクヤマ	

### 2020年度実施予定

2020年9月~12月に4回程度実施予定

### スケジュール

- ・主旨説明(20分)
- ・企業講演(100分)
- ・昼休み(60分)
- ・企業講演(60分)
- ・若手研究者のポスター発表(110分)
- ・企業との個別交流(120分)
- ・情報交換交流会(90分)

### 2019年度実施状況



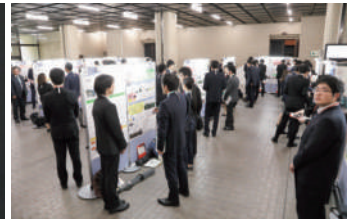
本部長挨拶



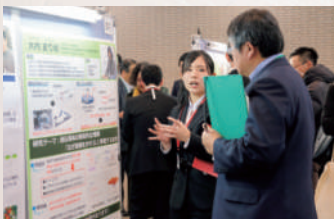
主旨説明



企業講演



ポスター発表



ポスター発表



個別交流



エンレイ賞授賞式



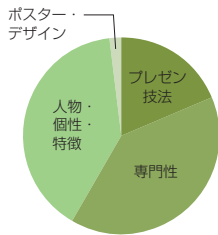
情報交換交流会

## 過去4回のアンケート結果

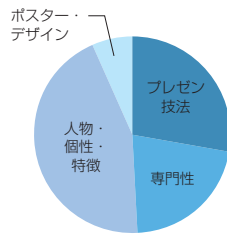
企業:71社・176名、研究者:186名(延べ数)

### ポスターセッションについて

DC-PDがアピールできた点



企業が注目する点



### ■DC、PDより■

- HPではわからない、新規事業内容や募集状況などを教えていただき、就職に非常に有利であった。
- 新規事業で自分が活躍できること。専門性を重視する企業とそうでない企業がはっきりと分かれていることがわかった。
- 初めて参加してもらい、はじめは自己PR、ポスター発表に緊張がありましたが、進むにつれてもっとアピールしたいという気持ちになりました。積み重ねが大事なイベントだと思いました。

### ■企業担当者より■

- 一度に色々な分野の研究者と知り合うことが出来、有意義な時間でした。又、自身の仕事の励みにもなりました。
- 弊社に必要そうな学生が多くいたので是非来年も参加したい。
- ポスター発表は非専門家に対して分かり易く説明するトレーニングがしっかりなされていて感心した。また学生が話す機会が多く良いプログラムであると感じた。

## OBとして赤い糸会に参加して

株式会社カネカ  
Pharma&Supplemental Nutrition Solutions Vehicle  
バイオテクノロジー研究所 バイオロダクン研究グループ  
H31年 3月 北海道大学 大学院  
総合化学院 博士後期課程 修了



最近でこそ学位取得後に民間企業に行く進路が増えてきましたが、博士課程の学生が民間企業に就職するための情報収集の手段は、修士課程時の就職活動よりも少なく大変です。さらに、北海道は地理的にも遠く、日々忙しい博士課程の学生には物理的にも情報収集が難しいと思います。赤い糸会は一日完結型の交流会で、主に北大の博士課程の学生を採用したい企業の人事や企業研究所の社員との情報交換をface to faceでできる機会です。集団での説明会よりも濃い情報を得ることができます。これは博士課程の学生がポスター発表形式で自分が何者で何ができるのかを、企業の採用者や研究所の社員と一対一で直接伝えることができるからです。各企業がどのような人材、技術を求めているのかを集団での説明会よりも具体的に把握できるのは、本学の赤い糸会の最大の強みだと思います。また、早いうちに参加することで博士課程の間に自分が鍛えておくべき能力の指針になることもあります。

ポスターセッションでは自身の研究を企業の研究者だけではなく、採用担当者や異分野の方などにわかりやすい説明をすることが要求されます。特に、異分野の方に説明するのは慣れないと大変だと思いますが、赤い糸会の中で思いがけない出会いがあり業界の異なる企業での活躍につながるかもしれません。自身の専門性にマッチしそうなところに絞るだけでなく、異なる分野、業界の方とぜひ話してみてください。また、情報収集のアンテナを広く張っておくのは学位取得後に民間企業に就職するとしても、大学で研究を続ける選択をしたとしても必要です。変化の激しい時代の中で、専門性そのものというよりも、自身が培った専門性を他分野と組み合わせる課題解決手段を考えられる力が重要になってきます。そういった人材になるべく、まずは分野のエキスパートとして研究に没頭し博士課程を有意義に過ごしてほしいですし、一人で行うと時間のかかる就職活動を効率よく赤い糸会をはじめとした、人材育成本部の施策を活用してほしいと思います。

## 赤い糸会に参加して

北海道大学 大学院  
総合化学院 総合化学専攻 (DC3)  
R2年 3月修了予定  
→東し株式会社内定



就職活動の1つの大きなテーマ・醍醐味は「人脈作り」です。いかに多くの人と関わって意見を交換し、自分にとって価値あるネットワークを築けるか。それができる素敵な場を提供してくれたのが、人材育成本部主催の「赤い糸会」でした。

学位取得後は就職することを決めていましたが、博士後期課程2年の就活時期まで専ら研究に打ち込んできたため右も左も分からずに就活を開始しました。そんな時に先輩の勧めで応募したのがその年最初の赤い糸会(9月)でした。その後、全4回に渡る赤い糸会全てに参加し、多種多様な企業の方々と交流を通して情報を掻き集め、己を知り、就職に対する考え方を磨き上げ、最終的には将来の自分像をシャープにイメージできるようになりました。

このような経験ができたのは、偏に貴重な人脈ネットワークを築けたからだと思っています。赤い糸会を通じて最も印象深いのが、参加第一回目の懇親会二次会で某企業人事の方と就職活動に対する姿勢のあり方について対談したこと。その時伺った話に非常に感銘を受け、内定をもらうまでの数ヶ月間その信念だけは曲げずに取り組みました。また、ここで築いたのは企業側との人脈だけではなく、異なる考え方を持ちつつ同じように本気で就活に取り組む同期や後輩、既に内定を掴んでいる先輩方、多くの学生の就職を支えてきた教員・事務員の皆さん。今後も高め合える皆さんの素敵な出会いがありました。

私自身は赤い糸会のみを活用させて頂きましたが、他にも将来を考える上で非常に有意義なイベントを見つけることができるはずです。まずは、そんな沢山のイベントを誠心誠意作り上げて下さっている人材育成本部の皆さんと良い関係を築くことから始めてみてはいかがでしょうか？

最後に、多大なるご支援を賜りました樋口先生、吉原先生、人材育成本部の皆様にご場をお借りして心から感謝申し上げます。今後も一緒に飲みに行きましょうね！

## プレゼンテーション演習

「赤い糸会」に参加する若手研究者は学会で専門家を相手に自身の研究内容を発表することには慣れていますが、ここに参加する企業の担当者は研究内容に関しては素人である場合が多いです。そのような相手に対し、専門性の高い内容をそのままぶつけても理解されません。本プログラムでは一般の人々に如何に自身のスキルや人間性を伝えるかを修得します。

### 2020年度開催予定

各回の赤い糸会および緑の会に先立って実施予定

#### 講義内容

- 1.赤い糸会緑の会について  
3つのセッション
- 2.ポスター発表について  
自己アピールに必要な3要素
- 3.ポスター作成例について  
タイトル、自己PR、研究報告
- 4.コミュニケーションについて  
挨拶、プレゼンの極意
- 5.赤い糸会緑の会参加要領  
まとめ  
名刺、ポスター、積極姿勢



講義



ポスター発表練習

# ⑨ 企業事業所視察

# DC・PD・(MC)



1. 実際に企業活動の現場を見よう!
2. 企業で活動する先輩と意見交換!
3. 自身が活躍するイメージを構築!

「赤い糸会」での若手博士研究者と企業とのマッチングのさらなる推進を目的として、企業の事業所を実際に訪問し、研究開発現場を実感するとともに、そこで働く企業研究者との交流から、自身のキャリアパスの多様性を感じ取り、人生を設計する一助とします。

1. 大学院共通授業科目  
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会&緑の会—」  
(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)  
専門科目(研究指導科目を含む)  
「博士研究者のキャリア開発研究」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーか年間1回開催の企業事業所視察のうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください  
(単位に関してはDC限定)

## 2020年度実施予定

東京で実施する赤い糸会の翌日



## これまでの訪問企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ 湘南ヘルスイノベーションパーク	■ 日本電信電話
■ 味の素	■ パーク	■ パナソニック
■ 出光興産	■ 住友化学	■ 日立製作所
■ 王子製紙	■ 住友金属鉱山	■ 富士ゼロックス
■ オエノンHD	■ 帝人	■ ポッシュ
■ 花王	■ 東急建設	■ マルハニチロ
■ カネカ	■ 東芝	■ 三井化学
■ キューピー	■ ニコン	■ 三菱化学
■ キリン	■ ニッカウキスキー	■ 三菱電機
■ クボタ	■ 日本製鉄	■ ヤンマー
■ サントリー HD	■ 日本IBM	■ ライオン
■ 塩野義製薬	■ 日本新薬	■ リコー
■ 資生堂	■ 日本たばこ産業	
■ 島津製作所	■ 日本電気	

## 2019年度実施状況



リコー



リコー



湘南ヘルスイノベーションパーク



湘南ヘルスイノベーションパーク

## 2019年度受講者アンケートより

普段は絶対に立ち入れないような場所を見させて頂けたり、入社したらこういうところで働くことになるのかといったイメージを持つことができたりととても参考になりました。また、実際に社員の方々や、OBの方々とは気さくに交流することもできてよかったです。

実際に企業の事業所の様子を見ることがないため、所内の様子や研究の雰囲気を感ずるきっかけとなった。

イノベーションにつながるような連携を生み出すための工夫が随所に施されている理想的な環境を実際に見ることができた点が参考になりました。

# ⑩ 産学シーズ／ニーズマッチング人材交流会／ 企業研究サイトビジット

1. 実際に企業活動の現場を見よう!
2. 企業視線での自身のスキル評価!
3. 大学と企業で研究の差異を認識!



これも「赤い糸会」に参加し、企業との接点を構築した若手博士研究者を、ただ企業を訪問するだけではなく、実際に企業の研究者の前で自身の研究内容を発表し、企業研究の目線で見られたコメントや指摘を得、意見交換をすることにより、具体的な産業界への出口のイメージを構築します。

## 2020年度実施予定

年3回程度実施予定

## これまでの訪問企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ シスメックス	■ 東レ
■ 旭化成	■ 資生堂	■ 特許庁
■ アステラス製薬	■ 秀和特許事務所	■ 日本電気
■ 大塚製薬	■ 住友化学	■ パナソニック
■ カネカ	■ ダイセル	■ 三菱電機
■ 京セラ	■ 大日本住友製薬	■ 三菱レイヨン
■ 神戸製鋼所	■ 田辺三菱製薬	■ ヤンマー
■ サントリー HD	■ 帝人	

## 2019年度実施状況



大日本住友製薬



アステラス製薬



京セラ



旭化成



資生堂



資生堂・ポスター発表



東レ



サントリー

## 産学シーズ／ニーズマッチング人材交流会 に参加して Message

山崎 莉佳

北海道大学 大学院  
生命科学院 臨床薬学専攻 (DC4)  
R2年 3月修了予定  
→アステラス製薬株式会社内定



私はD2の頃から赤い糸会に参加して企業との交流を重ねていく中で、将来は製薬企業で創薬研究をしたいと思うようになりました。しかし、いくつもの製薬企業がある中で、企業間の違いがわからず、具体的なビジョンを描くことができていませんでした。そんなとき、S-cubicから産学シーズ／ニーズマッチング人材交流会(アステラス製薬および大日本住友製薬に訪問)の案内がありました。私は、「これだ!」と思い、すぐに参加を決意しました。

本交流会の最大の特徴は、参加者が実際に企業に行き、現場の多くの研究者と交流できる点です。研究所見学、学生による研究発表会、座談会など豊富なプログラムから会社の専門分野や雰囲気をも多面的に知ることができます。例えば、学生による研究発表会では、私を含め、どの参加者の質疑応答でも鋭い質問が飛び交い、創薬研究者の視野の広さを目の当たりにしました。また、座談会では、「自分は将来こんな研究をしたいが、ここで実行可能か?」など、ホームページには載っていない内容について研究部長に直接たくさん質問できました。(余談ですが、恥ずかしながら、役職の理解が皆無だった私に、「山崎さん、あの方は各研究グループのまとめ役だから、質問してごらん」とこっそり吉原先生が教えてくださるなど、交流会中もS-cubicの手厚いサポートがあります。)昼食時には、北大／赤い糸会OB・OGから若手研究者の日々の仕事の進め方を伺いました。このように本交流会をフル活用して、ビジョンが定まった結果、縁あってアステラスから内定をいただくことができました。本交流会での私の熱意に圧倒された研究部長が顔を覚えてくださったことも一助となったようです。企業への就職を目指す方には、参加をお勧めしますし、現在アカデミア志望の方も参加すると新たな道を考えるきっかけになると思います。

最後に、博士研究者が産業界への理解を深める機会を提供していただいた企業の方々に感謝申し上げます。また、多大なるサポートをいただいたS-cubicの皆様にも感謝申し上げます。

## ① 博士力実践インターンシップ

DC・PD

1. 実際に企業活動を体験してみる!
2. 自身が企業に向いているか判断!
3. 企業ならではの新しい視点獲得!



国内外の先進企業(グローバル企業・ベンチャー企業・オンリーワン企業)や公的機関、大学も含めたインターンシッププログラムです。企業における研究開発等の実体験を通して、説明会だけではわからない多様な社会での活躍方法を体得する機会です。企業が公募しているインターンシップにとどまらず、希望する企業との接点づくりから支援します。是非この機会に応募されませんか?

### 2019年度実施状況

院生	インターンシップ先	所在地	期間
生命	DC2 化学	山口県	1か月
理学	DC2 金融工学	東京都	1か月
環境科学	DC3 海外大学	オーストラリア	1か月
総合化学	DC2 化学	京都府	1か月

### 受入企業からの声

#### 企業が博士に期待するもの

- 競争を勝ち抜く強い意思
- グローバルな視点と統合力
- 自ら課題を発見し、その解決策を生み出す力
- 市場のニーズを敏感に感じ取る知性と感性
- 基盤となる学術の確実な理解と、常に自ら学ぼうとする強い意欲に裏打ちされた異分野技術者とのコミュニケーション能力とフレキシビリティ

#### 企業にとってのインターンシップの意義

- 大学との関係構築、協力関係の深化
- 優秀な人材の確保、発掘
- 新技術、新テーマの導入促進効果
- 職場の活性化
- 企業のPR

#### 大学院博士課程で伸ばしておくべき能力

- 習った知識を駆使して問題を設定し、解決していく能力
- 複雑な課題を整理する能力
- 倫理的に考える能力
- アイディアを創造していく能力
- 異分野技術者とのコミュニケーション能力
- 文章で的確に情報を伝える能力
- 社会に対する幅広い関心

### インターンシップ概要

対象者	北海道大学に所属する博士後期課程院生、博士学位取得後5年以内の者(パーマネント職員を除く)
人数	10名
受入企業	国内外の企業・大学
期間	1~3ヵ月程度
条件	学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険(インターンシップ保障)に加入すること。その他詳細条件は受入企業によって異なる。

### インターンシップに行くまでの流れ





<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アミノアップ化学</li> <li>■ アルファ水工コンサルタンツ</li> <li>■ 医学生物学研究所</li> <li>■ 花王</li> <li>■ カネカ</li> <li>■ 京セラ</li> <li>■ クラシエ製菓</li> <li>■ 栗山町農業振興公社</li> <li>■ KDDI研究所</li> <li>■ 高研</li> <li>■ 神戸製鋼所</li> <li>■ サントリー HD</li> <li>■ JFEエンジニアリング</li> <li>■ JAきたみらい</li> <li>■ JNC</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 塩野義製薬</li> <li>■ シスメックス</li> <li>■ 島津製作所</li> <li>■ 住友化学</li> <li>■ 住友電気工業</li> <li>■ セラバリュース</li> <li>■ ダイナックス</li> <li>■ 帝人</li> <li>■ データフォーシース</li> <li>■ 東急建設</li> <li>■ 東芝</li> <li>■ 東レ</li> <li>■ 日生バイオ</li> <li>■ ニッピ</li> <li>■ 日本製鉄</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本IBM</li> <li>■ 日本アレフ</li> <li>■ 日本ゼオン</li> <li>■ 日本データサービス</li> <li>■ 日本電気</li> <li>■ パナソニック</li> <li>■ 阪大微生物病研究会</li> <li>■ ピアメカニクス</li> <li>■ 日立製作所</li> <li>■ 富士通研究所</li> <li>■ 北海道システム・サイエンス</li> <li>■ マルハニチロ</li> <li>■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー</li> <li>■ 三井化学</li> <li>■ 三菱電機米国研究所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ヤンマー</li> <li>■ リコー</li> <li>■ リバネス</li> <li>■ ロート製薬</li> <li>■ Alberta University</li> <li>■ Bejo Seeds</li> <li>■ Duke University</li> <li>■ Dupont Pioneer</li> <li>■ IAEA</li> <li>■ NemGenix</li> <li>■ New South Wales University</li> <li>■ Sapienza - Università di Roma</li> <li>■ Starfighters</li> <li>■ Texas A&amp;M University</li> <li>■ The University of Massachusetts</li> </ul>
---	--	---	---

## インターンシップに参加して 港 江利奈

北海道大学 大学院  
獣医学部研究科 獣医学専攻 (DC4)  
R2年 3月修了予定  
→株式会社島津製作所内定



私は元々、異分野の企業で働くことに興味を持っていました。一方で、実際にそれは可能なのか? 働くとしたら、どのような形になるのか? など疑問が尽きませんでした。そこで、本プログラムを活用して長期インターンシップを行い、異分野で働くイメージを掴もうと考えました。

博士課程学生向け人材交流イベントである「赤い糸会&緑の会」への参加を通して、株式会社島津製作所へのインターンシップを決めました。島津製作所といえば分析機器のイメージが強いと思いますが、私が研究テーマとして取り組んだのは「細胞培養用基材の毒性評価系の構築」であり、培養細胞を用いた実験あるいは生化学的実験が主な内容でした。企業の方曰く「工学系の間は社内に沢山いるのであり、港さんにはむしろ、我々にとっての専門外の部分を補う仕事(=生物系の研究)をしてほしい」とのことです。これこそが異分野の企業で働く醍醐味であると感じました。

1ヶ月間のインターンシップを通して、「異分野の企業で働く」ことに対するイメージを掴むことができました。企業で働く上ではコミュニケーション能力が重要です。そして、異分野の企業であればあるほど、周囲の専門外の研究者に分かりやすく研究内容を説明する必要があります。ここを楽しむことができる人ならば、異分野の企業で働くことに向いているのではないかと思います。

また、インターンシップは早めに参加することをお勧めします。就職活動では沢山の企業を比較することになるとと思いますが、早くからインターンに参加していれば、「インターン先の企業と比較して、〇〇が良い/悪い」と企業の数を絞ることができ、余裕をもって志望度の高い企業に対する就職活動を行うことができます。

本プログラムの存在を知って、少しでも興味をもたれた学生の方は、是非企業での長期インターンシップに挑戦してみてください。得るものは本当に多いです。

## インターンシップに参加して 一色 翔平

北海道大学 大学院  
理学院 宇宙物理学専攻 (DC3)  
R2年 3月修了予定  
→株式会社プリヂェストーン内定



アカデミックに残るのか、民間企業で働くのかを判断するため、約一ヶ月間みずほ第一フィナンシャルテクノロジー(みずほ第一FT)でインターンシップを行いました。結論としては、このインターンシップがきっかけで、民間企業で働くことも十分面白いと思い、民間企業で働くことを決断しました。

インターンシップのきっかけは、私は博士後期課程2年にあがった春、アカデミックに残るか残らないかをそろそろ決断しなければならぬと思い人材育成本部に相談しに行ったことでした。そこで人材育成本部の持つデータをもとに、理論物理の学生である私向けに、インターンシップ先についていくつかアドバイスをいただきました。そして、興味のわいた金融分野であり、かつ博士・物理系出身者が多くいらっしゃるみずほ第一FTにインターンシップをしました。

インターン先では、約1ヶ月の間に三つの部署に所属し、計3つのテーマについてそれぞれ約2週間の期限で解決する内容でした。課題内容は、機械学習等を用いた分析で、いずれの課題もかなり面白かったです。特に実際の金融データを使った分析だったため、機械学習等の威力が実感できかなり勉強になりました。また、私の大学における研究活動で得た、数学・物理・プレゼン・英語・論文の読解・プログラミングなどのスキルがなければできなかったことがインターンシップでの課題解決の際数多くあり、民間企業でも自分のスキルが意外に生かせることがわかった点も良いことでした。このように、スキルが間接的に生かせる、かつ民間企業も面白いということを知ったことで、民間企業に就職する決断をしました。

もし、民間企業とアカデミックに悩んだ場合は、解決策の一つとしては、気になる企業のインターンシップに参加することだと思います。長期インターンシップで約1ヶ月を消費することにはなりましたが、人生の進路を決めるためには必要な時間だったと思います。

## 博士インターンシップ報告会

## MC・DC・PD

主に民間企業への中長期インターンシップ(1ヶ月~3ヶ月程度)を体験した現役博士による体験報告会です。

### 2019年度実施状況



体験報告



報告者との座談会



懇親会

### 2019年度受講者アンケートより

博士のインターンについて、実際の内容やスケジュールを知ることにより、具体的になり、自分自身のパターンを想像することができました。

異分野の企業でもインターンシップができて、異分野も就職先の選択肢にあるということを知れてよかった。

外国人DC・PDのための

# I-HoP

外国人DC・PDを支援!

Graduate Career Development for International Students and Researchers

## CAREER LINK MEETUP -For international DC and PDs-(英語版赤い糸会) 外国人DC・PD

- 1.全編英語で行う赤い糸会!
- 2.応募時点で日本語力を求めない企業との直接交流!
- 3.外国人博士の日本での活躍の可能性を広げる!



国内でも極めて珍しい「博士向け」+「使用言語:英語」のマッチングイベントです。2019年初開催、企業7社19名、外国人博士人材24名が参加し、日本語の赤い糸会同様に、企業からのショートトーク、博士研究者による研究スキルやキャラクターのポスター発表、企業のブースセッションにより、密度の高い交流を行いました。I-HoPでは今後も継続して開催したいと考えており、応募時点で日本語力を要求しない(英語で採用の可能性のある)企業の情報を収集しています。

### 2020年度実施予定

年1回程度実施予定 外国人DC・PD対象



趣旨説明



企業によるショートトーク



ポスターセッションで研究やスキルをアピール



企業ブースセッション

### 参加企業

(敬称略、AtoZ順)

- AWL, Inc.(アウル)
- Cambridge Consultants Japan Inc(ケンブリッジコンサルタンツ)
- Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.(中外製薬)
- Mitsubishi Aircraft Corporation(三菱航空機)
- NEC Corporation(日本電気)
- Sanoh Industrial Co., Ltd.(三桜工業)
- Sony Corporation(ソニー)

### 2019年度参加者アンケートより

-Great opportunity to network with companies.

-Very helpful to international students to find job & study the Japanese culture in job hunting process.

-Educative, informative and great opportunity to meet hiring managers.

-Good event, very helpful for non-Japanese speaker.

## 海外企業訪問

## 外国人DC・PD

- 1.アメリカなどの企業と大学を訪問!
- 2.現地のビジネスパーソンと直接交流!
- 3.視野をグローバルに広げる!



海外の企業や大学を訪問し、現地のビジネスパーソンを前に研究内容のプレゼンテーションを行います。海外での博士の働き方、職場環境や研究の環境についてインターネットやテレビだけでは知ることのできない「現実」を体感できる、またとない機会です。2019年度はノースカロライナのResearch Triangle Parkの4社3大学を訪問しました。(Red Hat, BASF, IBM, Syngenta, NC State University, Duke University, UNC Chapel Hill)

### 2020年度実施予定

年1回程度実施予定  
DC・PD対象(日本人含む)



IBM



BASF

### 2019年度参加者アンケートより

Before visiting RTP, I was wondering which I should go to a company or academia after getting my Ph.D.. Through all visit, it was a good opportunity to think about my future career after my Ph.D.. In all the companies I visited, I heard the opinion that what is important in finding a job is not what your major is, but how you can adjust your experience to corporate projects. What I learned through RTP is to clarify what I want to do.

This trip is precious for me. It makes me more clearly understand the difference between the academic research and industrial work through this visit to USA companies. The wonderful working environment of companies in the US made a deep impression on me.

## 連携型博士人材育成コンソーシアム

# COFRe(大学間連携)

## 連携型博士研究人材総合育成システム イノベーション創出人材連携育成 プログラム

2014年10月に文部科学省に採択された、連携型博士研究人材総合育成システムの構築事業により、北海道大学が代表機関となり、東北大学・名古屋大学の3大学のコンソーシアムが発足しました。現在は大阪大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、立命館大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携し9大学に規模が拡大しています。本コンソーシアムでは各大学が独自に設計、推進している博士課程学生(DC)や博士研究員(PD)に対する洗練されたキャリアパス多様化支援プログラムのうち、相互に内容の補強、補完が期待できるものを選定し、どの大学からも参加できるようにすることで、コンソーシアム形成のメリットを最大限生かした一層効果的な人材育成プログラムを構築します。これにより、例えば本学の赤い糸会に他の8大学からも参加できますし、8大学が実施する様々なプログラムに北大から参加も可能となります。参加希望者はまずHi-Systemに登録し、ご利用ください。



## 人材育成本部におけるS-cubic活動のご紹介

北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション  
業務実施責任者  
教授 出村 誠

人材育成本部のS-cubicでは、大学院学生(MC・DC)や博士研究員(PD)等若手研究者に対し、多様なキャリアパスを開くための能力開発プログラムを提供しています。これは科学技術・知識に基づく高度な研究力を有する研究者が社会の多様な分野において責任ある立場で活躍するために必要なスキル(Transferable Skills)を提供するプログラムです。

平成18(2006)年度にS-cubicがスタートして以来、多くの企業や教員の方々のご協力を得、10年以上の試行錯誤と改良を重ね、「Advanced COSA」、「キャリアパス多様化支援セミナー」、「赤い糸会」等の厳選されたプログラムを開発・普及・定着に努力し、さらに「キャリアマネジメントセミナー(MOT 関連)」、「博士力実践インターンシップ」、「Advanced COLA」などの新プログラムを軌道に乗せることができました。

平成23(2011)年度以降はこれらプログラム単独、あるいは組み合わせで4つの科目を大学院共通授業科目として単位化しました。これ以外にも、MC・DC・PDと企業の登録制Webコミュニケーションシステム「Hi-System」、DCやPD専用の進路相談窓口「J-window」等のサポート機能を充実させています。その結果、多くの企業の方々から、「ぜひ北大のプログラムから採用を検討したい」などの嬉しい

コメントが寄せられており、これは10年以上のS-cubic活動の積み重ねの成果と考えています。

また平成26(2014)年度秋から、本学と同様に人材育成プログラムを展開している東北大および名古屋大の3大学がコンソーシアムを組み、それぞれのプログラムに相互乗り入れ、参加枠提供などの協働ができるようになったことで、ますますその内容が充実しています。さらに3大学コンソーシアムは新たな参加大学を迎え、令和元(2019)年度までに9大学を超えるまで発展することとなり、その人材育成プログラム群は多様な若手人材が集う場としていっそうの広がりを見せています。これらの実態については、本冊子「S-cubic通信」に詳しく記載しましたので、ぜひご一読下さい。

S-cubicは、皆さんが自らの進路やキャリアを開拓していくために必要なスキルを身に付けるための情報や産業界とのマッチングの場等を提供します。まずHi-Systemに登録しプログラムに参加してみてください。きっと視野が大きく広がると思います。またプログラム参加経験者は仲間にその情報を是非伝えてください。皆さんのご活用を期待しています。



## 2020年度実施プログラム(予定)

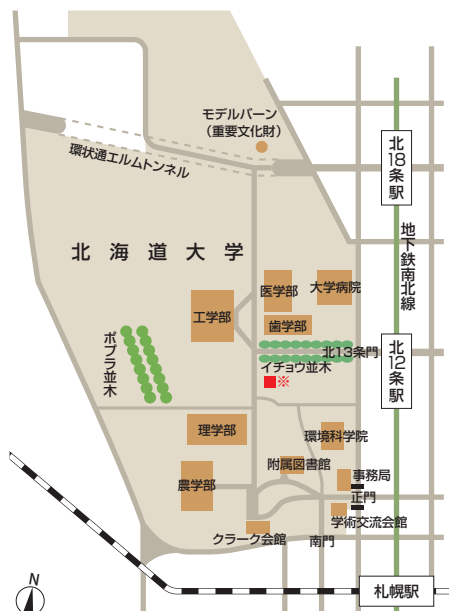
▽2020年度

アクティビティ	MC	DC	PD	単位
キャリアマネジメントセミナー(MOT関連)	●	●	●	☆
キャリアパス多様化支援セミナーI(知的財産)	●	●	●	☆
キャリアパス多様化支援セミナーII(プロジェクトファシリテーション)	△	●	●	☆
キャリアパス多様化支援セミナーIII(交渉学)	△	●	●	☆
Advanced COSA(1)	●	●	●	☆
Advanced COSA(2)	●	●	●	☆
Advanced COLA	●	●	●	
ビジネスマナーの基本と実践	△	●	●	
ビジネスコミュニケーションセミナー	△	●	●	
第43回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
第43回赤い糸会&緑の会	×	●	●	☆
第44回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
第44回赤い糸会&緑の会	×	●	●	☆
第45回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
第45回赤い糸会&緑の会	×	●	●	☆
第46回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
第46回赤い糸会&緑の会	×	●	●	☆
企業事業所視察	×	●	●	☆
博士インターンシップ体験報告会	●	●	●	

●受講対象 ○条件付き受講対象 △イベント開催案内参照 ×受講対象外

☆単位取得要件についてはシラバスを参照

※詳細日程や時間等はホームページでご確認ください。  
 【URL】 <http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic>



### 北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション S-cubic

〒060-0812  
 札幌市北区北12条西7丁目  
 中央キャンパス総合研究棟1号館 1階

TEL: 011-706-3275 FAX: 011-706-3584  
 E-mail: [s-cubic@synfoster.hokudai.ac.jp](mailto:s-cubic@synfoster.hokudai.ac.jp)  
 URL: <http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic>



【発行元】北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション S-cubic  
 【発行日】2020.3.15